

平成22年度 学校評価書

学校名： 静岡市立高等学校

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標：「質実剛健」の気風を継承し、調和のとれた、社会に貢献できる創造的な人間の育成		自己評価	学校関係者評価委員会から	
2 重点目標 文武両道(学習活動と部活動)を目指す教育活動の確立	(1)学力の保障 魅力ある授業づくりや授業改善	①年間計画を創意工夫し、授業日数や授業時間を確保する。【教務課】	A	A ・生徒の学力をつけるためには授業の絶対時間数を確保することが重要であるが、授業時間数はしっかり確保されているようである。
		【学校説明】学校行事を精選し、曜日のバランスを調整し、夏季・冬季休業の直前まで授業を行うなどして授業日数や授業時間を確保した。		
	(2)特別活動や部活動(同好会)の充実	②授業改善、授業公開、自己評価への取組を推進する。【教務課】	A	A ・授業アンケートの結果を、授業力向上につなげたい。 ・授業アンケートの活かし方をさらに考え、授業改善を目指してほしい。
		【学校説明】本年度から授業アンケートを実施し、授業改善を図っている。科学探究科設置を控えてICTを活用した授業の公開も行った。		
		①効率的で計画的な部活動(同好会)の推進を図る。【生徒課】	A	A ・生徒が目標に向かって努力し、好きなことを思い切りできるように、顧問は指導力向上を目指してほしい。 ・部活動を通して、協調性ができる機会を大切に教育してほしい。
		【学校説明】全国大会や東海大会には今年も複数の部活動が出場し、活躍した。また、県大会初出場を果たすなど成果を上げてきている部活動もある。		
		②学習活動と部活動との両立を図る。【生徒課】	B	B ・文武両道がなされている。 ・学習と部活動の両立は難しいが、両立を目指せる手立てをさらに工夫してほしい。 ・学校全体の緊張感があれば、生徒は頑張るものである。
		【学校説明】全国大会や東海大会に出場した部活動からも、何名かが成績優秀者に名前を連ねた。成績不振者に対しては、各教科と連携し補習等を行った。		

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から		
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	① 授業を重視するとともに、家庭学習習慣の定着を図る。【各学年】	B	B ・各学年とも本校の教育目標に沿った3年間のストーリー具体化のために主体性をもって頑張っていると思う。 ・教師が生徒に訴えたい気持ちが伝わるような教育をしてほしい。		
		【学校説明】〔1年部〕家庭学習時間調査を実施して生徒の学習状況把握に努め、面接等で指導した。クラスや学年集会等で授業や家庭学習の大切さを説いた。				
		【学校説明】〔2年部〕テスト前や夏季・冬季休業前に学習計画書を提出させた。特にテスト前は、日々の学習状況を把握するために毎日提出させてチェックした。				
		【学校説明】〔3年部〕いろいろな場面で、受験の基本は授業であることを意識させた。頻繁に学習時間調査をして、面接等で勉強方法に対する適切な助言をし続けた。				
		② 課外(補講)、勉強合宿、土曜講座等の充実を図る。【各学年】	A	A ・各学年とも、努力と工夫をして頑張っている。それぞれの学年のいいものは、他の学年も取り入れるといいと思う。 ・1年次から系統的な課外授業を考え、一般クラスの生徒も継続して参加できるようにしたい。受講希望者もさらに増やしたい。 ・課外授業など先生方の努力が感じられる。 ・目標に合った学習ができるような講座が充実している。		
			【学校説明】〔1年部〕一般クラスの希望者に対しても朝課外を実施した。土曜講座でも希望講座を実施し、平均65%の参加を得た。			
			【学校説明】〔2年部〕特進クラスおよび一般クラスの希望者に対して、英語・数学の朝課外を実施した。土曜講座は数学の基礎テストと英語の希望講座を実施した。			
			【学校説明】〔3年部〕放課後、早朝、長期休業中に課外を実施し、生徒も積極的に活用していた。			
			③調べ学習等での図書館利用を促進し、利用率を上げる。【図書課】		B	B ・図書館の利用が高い学校は、生徒の意識が高いといわれるので、これからもさらに整備、充実させ、利用率が高まることを期待する。 ・図書館の利用が一部の生徒に限られているのが残念だ。
			【学校説明】授業において調べ学習等積極的な利用、活用ができた。昼休みや放課後、長期休業中も多くの生徒が図書館を訪れ、読書や調べ学習、自習等で利用した。			
(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①自他を尊重する心を育成するとともに、携帯メールやインターネット等における情報モラルの指導を充実させる。【生徒課】	A	A ・携帯電話の使用規定の徹底をお願いしたい。 ・携帯電話の問題は、学校生活に集中させるために、毅然とした態度で取り組んでほしい。			
	【学校説明】ネット上の悪質な書き込み事例の報告はなかった。1月から携帯電話の校内使用規定を厳格化した。その成果はあったと認められる。					
(3)特別活動の充実 【市共通項目3】	①ホームルーム活動や生徒会活動等への積極的な参加と内容の充実を図る。【生徒課】	B	B ・委員会の生徒が積極的に活躍していることは喜ばしい。 ・生徒会活動や委員会活動は、社会性を身につけるには重要な教育である。日常的な活動を生き生きと続けることを期待する。			
	【学校説明】読み聞かせボランティアや交通指導、文化祭関連等で委員会の生徒が活躍した。担当教員の指導も適切であった。					
2 生徒指導	(1)一人一人を大切に した指導 【市共通項目4】	①服装、言葉遣い、あいさつに品位を求める指導を推進する。【生徒課】	B	B ・来客に対しても笑顔で挨拶をしてくれる生徒が多いことは喜ばしい。 ・服装指導等には、職員の統一した指導を願う。		
		【学校説明】一時期に比べると、服装違反が極端な生徒は減少している。注意をする教員の数も増えている。学年部との連携を一層深めていきたい。				
		②教育相談体制を機能的にした生徒指導の充実を図る。【相談室】	A	A ・個人を大切にして、人を大切に する教育につなげてほしい。 ・スクールカウンセラーを教職員のカウンセリングマインドの研修に活用してほしい。		
			【学校説明】2名のスクールカウンセラーにより、生徒、保護者との面談が年間約40回実施された。深刻な悩みを持つ生徒に対して、適切な指導・助言がされている。			

3 進路指導	(1)進路指導の充実	①学年に応じた進路ガイダンス、面接指導、大学出張授業、進路講演会などを通して進路意識の高揚を図る。【進路課】	B
		【学校説明】各学年で全体への指導（文理選択や進路希望調査等）を行った後個別の面談を行うなど、生徒が自分の進路に向き合うための機会につなげる工夫に努めた。	
		②個々の生徒の要望に対応した進路に関する情報や資料の提供を行う。【進路課】	A
		【学校説明】1年生の文理選択、2年生の科目選択に際し、個々の生徒の進路実現に向けた情報提供ができた。3年生には繰り返し面談を行うことで情報提供を行った。	
4 安全管理・指導	(1)学校安全システムの構築 【市共通項目5】	①「防火・防災計画」を作成し、防災の意識の高揚を図る。【総務課】	A
		【学校説明】「防火・防災計画」を作成し、地区別集会・地震防災訓練・防火避難訓練を予定通り実施できた。	
		②交通安全教室等を通じて、生徒に交通安全意識の高揚を図る。【生徒課】	B
		【学校説明】自転車セーフティーコンテストを行い、生徒の交通安全意識の高揚を図った。雨天時の傘さし運転等は減少してきている。	
5 保健管理・指導	(1)健康教育の充実 【市共通項目6】	①健康に対する自己管理を徹底させ、基本的な生活習慣を確立させる。【保健課】	B
		【学校説明】保健便り等を定期的に発行し、その時期に特に注意したい事柄についての情報を与え、健康維持への意識を持たせた。	
6 特別支援教育	(1)学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目7】	①特別支援教育についての理解を深め、職員が連携して生徒の支援を行う。【相談室】	A
		【学校説明】状況に応じて関係職員が情報交換をしたり話し合いをして、対象生徒が快適に学校生活を送ることができるように配慮した。	
7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	①各分掌や委員会等を組織化し、業務の効率化を図る。【管理職】	B
		【学校説明】本年度から広報課を立ち上げ、9課体制とした。各課、学年が連携し業務がスムーズに行なわれた。	
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	①公開授業、職員研修、授業研修週間を計画立案・実施し、授業評価を取り入れることによって授業改善を推進する。【研修課】	A
		【学校説明】公開授業と職員研修はそれぞれ年2回実施した。授業評価も年2回実施し、教師が授業改善について考える機会となった。	
9 保護者・地域住民等との連携	(1)信頼される学校づくりの推進 【市共通項目10】	①ホームページや学校案内等による情報の提供に努める。【広報課】	A
		【学校説明】本年度は、保護者への連絡事項をホームページに迅速に掲載した。また、学校行事等その日の出来事をできるだけ写真付きで掲載した。	
		②中学校訪問や授業公開を通して開かれた学校づくりを推進する。【研修課】	B
		【学校説明】中学校訪問や授業公開を通して、中学生とその保護者や本校生徒の保護者に対して、本校の教育理念を示すことができた。	
10 施設設備	(1)リサイクルや省エネの推進	①印刷物の表裏印刷や使用済み紙の裏面の利用などリサイクルを推進する。【環境課】	A
		【学校説明】日常の学校生活での様々な廃棄物のリサイクルや紙の有効利用などをさらに推し進めることが出来た。	
		②使用していない教室の消灯、エアコンの適切な温度設定等により、節電に努める。【事務室】	B
		【学校説明】消灯の徹底、エアコンの適正利用の周知及び確認を実施し、節電に努めた。	

B	・生徒に対して、将来が具体的に描けるようにへんよく指導されていると思う。 ・生徒は、学校の指導で大きく成長する。大学の先にある「社会のために働く」意味を考えさせてほしい。
A	・生徒にベストの進路決定をさせるという強い意志と行動力を持って、教師は生徒に当たってほしい。 ・最新の進路情報を職員は共有して、指導に活かしてほしい。
A	・避難訓練等、定期的にしちんちんと行われている。 ・地域防災訓練に参加する生徒を増やしたい。 ・高校生の役割を自覚させて、社会の一員として行動できるといい。
B	・交通マナーは繰り返し様々な方法で認識させていくしかないと思われる。 ・高校生は社会の一員であり、交通安全に関してもその責任があることを自覚させたい。
B	・興味深い内容の「保健便り」の情報は、生徒の健康管理に役立っている。 ・薬学講座（1年）、保健講座（2年）はとてもよい内容だった。
A	・人を大切にすることを今後も続けていくことを強く願う。 ・関係者が情報をいつでも話し合えることは、安心につながる。
B	・学校は目標達成のための組織であるので、同じ方向に向かっていくことを常に確認しておくべきである。 ・広報課を作った結果、より情報が伝わりやすくなった。
A	・公開授業や研修はできる範囲で行われている。 ・3年間の教科指導の組み立てを検討・改善し、その上で個人の創意工夫を生かすよう期待する。
A	・保護者向けと同時に中学校向けの内容も充実させると効果がある。 ・学校からの便りが届きにくい家庭にとっては、このホームページはありがたい。さらなる周知をお願いしたい。
B	・広報課と連携して、参加できなかった人たちにも情報提供できるとよい。 ・中学校に本校の特色を理解してもらうよう、可能な限り訪問や公開を増やしたほうがよい。
A	・リサイクルに努めている。 ・教員の意識改革である。具体的数字を出すとわかると思う。 ・裏紙利用の場合、内容をよく見て、差し障りのないもののみを利用してほしい。
B	・生徒に体育の授業等で教室が不在になる時の消灯を、各自が率先して行うようさらに指導したい。 ・具体的にエアコン設定温度等記載したい。

学校から 経営のまとめ(成果と課題)	
<p>・平成22年度の本校の取り組みについて、委員の皆様から、本校に対して理解ある評価をいただいた。</p> <p>・本校では、学力の保障を第一と位置づけており、授業公開や授業評価アンケートなどを通して魅力ある授業づくりを目標として教育活動に励んできた。次年度以降も、確かな学力の育成を目指し、さらなる授業改善を図りたい。</p> <p>・今年度は、新しく広報課を設置して、ホームページ等を通して本校の活動状況を積極的に発信した。多くの学校関係者に活用されるよう、機会あるたびに周知させたい。</p> <p>・今後も、文武両道を目指し、社会に貢献できる、調和のとれた、創造的な生徒を育成するよう努めていきたい。</p>	

学校関係者評価委員会まとめ	
<p>・学習面の指導は言うことはない。これからの社会を生き抜く厳しさや自己アピール面にもっと力を入れてほしいと思う。</p> <p>・進学校の評価は高いが、社会の一員である人間教育にも努めてほしい。</p>	